

よ先駆けを!

夢の実現におけて!

学校報

望洋

東海大学付属望洋高等学校
編集：メディアセンター
2015年1月30日 第110号

第13回 定期演奏会を開催

吹奏楽部

12月23日(火・祝)、第13回 吹奏楽部定期演奏会を開催しました。当日は招待客の皆様をはじめ、1000人を超える多くの来場者を迎え、3部構成によるコンサートを展開しました。第1部は吹奏楽の醍醐味を存分に味わって頂こうと、「スピリディッド・アウェイ《千と千尋の神隠し》より」をはじめ3曲を、第2部は東京佼成ウインドオーケストラのファゴット奏者 福井弘康 氏をゲストに迎えた演奏を、第3部では恒例のプログラムとなった「ヒットステージ 2014 !! ～スペシャルバージョン」を展開。アンコール曲を合わせ、ご来場の皆様に吹奏楽の世界を満喫して頂きました。また、翌24日には、そごう千葉店「センシティブガーデン」で開催された「吹奏楽仲間の音楽界 クリスマスコンサート in SOGO」に出演。クリスマスの街に素晴らしい音色が響きました。



第13回 定期演奏会を開催して

吹奏楽部 クリエイティブリーダー 葛 絵梨奈

第13回 定期演奏会にご来場頂きまして、誠にありがとうございました。私たちは今年度、「奏志想愛～約束を果たせ～」をスローガンに掲げて活動してきました。夏の吹奏楽コンクールでは目標に手が届かず、悔しい思いをしました。しかし、その結果を受けて自分たちの活動や行動を見直し、改善するべきところを話し合いました。そして、全員で自分たちの苦手な部分を克服するために努力をしてきました。また、地域の皆様から多くの依頼演奏にお招き頂き、沢山の方々の前で演奏する機会を得られたことに、感謝の言葉が尽きません。そして、1年間の集大成である定期演奏会を迎えました。それも顧問の曾根先生をはじめ、日々応援し、支えて下さった皆様のお蔭です。部員一同、感謝の気持ちを込めて精一杯演奏しました。私たちの演奏を、最後までお聞き下さった皆様に、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



第13回 定期演奏会の開催に当たって

吹奏楽部 後援会会長 葛 幸子

お忙しい中、第13回 定期演奏会にご来場頂き誠にありがとうございました。今年も定期演奏会を恙なく終えることができました。これもひとえに協賛者の皆様をはじめとする関係者の方々の、温かいご支援の賜と、吹奏楽部後援会を代表して心から御礼申し上げます。昨年は「夏の甲子園での応援」という例年にはない演奏の機会も頂きました。夏の吹奏楽コンクールでは悔し涙を流しました。依頼演奏では良かったよという言葉が沢山頂きました。音楽を一緒に楽しむ仲間がいて、音楽を奏でる場所や、災害等の影響のない平穏な毎日があって、顧問の先生をはじめ諸先生方、講師の先生方からのご指導を頂けて、OB・OG や保護者の皆様のご協力とご理解があって…。すべての皆様に深く感謝申し上げます。部員たちはご来場下さった皆様にも感謝の気持ちを込めて素敵なステージを披露してくれました。今後も望洋高校吹奏楽部を応援して下さいますよう、お願い申し上げます。

第13回 定期演奏会を終えて

吹奏楽部 顧問・常任指揮者 曾根 勤九郎

12月23日、市原市市民会館大ホールで開催した第13回 定期演奏会。多くのお客様のご来場を頂き、終えることができました。有難うございました。2001年に本校松前記念講堂で開催した第1回演奏会から回を重ね、ご来場の地域の方々も徐々に増え、1500席を超える市民会館の座席がほぼ埋め尽くされる会場の中で、1年間の活動の集大成としての舞台に立つことができたことに感謝しております。演奏会の開催は、ただ演奏を披露する大会とは異なり「運営力」が必要となります。選曲、プログラム作成、チケット管理、協賛金集めなど、高校生だけでできるものではありません。しかし、高校生が頑張らねば始まりません。部員たちはこの舞台を通して多くの「感謝」を感じたのではないかと思います。今回はソリストとしてお招きしたファゴット奏者の福井弘康先生にも盛り上げて頂きました。日々の活動は単純で地味で時間がかかりますが、こうして多くの方々に拍手を頂ける瞬間を目指して、学校生活を大切にしつつ頑張りたいと思います。今後とも吹奏楽部をどうぞよろしくお願いたします。



【PROGRAM】

♪ 第1部.....

スピリティッド・アウエイ 《千と千尋の神隠し》より 久石 譲/木村 弓 作曲 森田 一浩 編曲
 歌劇「トスカ」より テ・デウム ジャコモ・プッチーニ 作曲 鈴木 英史 編曲
 パレエ音楽「ダフニスとクロエ」より 夜明け、全員の踊り モーリス・ラヴェル 作曲 齋藤 淳 編曲

♪ 第2部.....

交響詩「モンタニャールの詩」 ヤン・ヴァン・デル・ロースト 作曲
 ファゴット小協奏曲 変ロ長調 作12 フェルディナンド・ダヴィッド 作曲 平井 哲夫 編曲
 リベルタンゴ アストル・ピアソラ 作曲 啼 鵬 編曲
 ファゴット奏者 福井 弘康 (東京佼成ウインドオーケストラ ファゴット奏者)

♪ 第3部.....

2014 情熱メドレー
 ヒットステージ2014!! ～スペシャルバージョン～
 交響曲第3番より 第3楽章 “ナタリーのために” メスト、
 第4楽章 “フィナーレ” アレグロ ジョコーソ ジェイムズ・パーンズ 作曲

新年を迎え、全校集会を実施



1月6日(火)、新年を迎えて初めての全校集会を実施しました。当日は、冬期休暇を挟んで久しぶりに再会した全学年の生徒たちが、心を新たに集会に臨みました。集会では、黒坂道生 校長がノーベル物理学賞を受賞した3人の科学者の功績を紹介しながら講話を展開。生徒たちは講話を聴きながら、日本の科学技術の未来に思いを馳せていました。今号は、以下にその内容を紹介します。

【黒坂道生 校長 年頭の講話】(要約)

新年明けましておめでとうございます。今年が皆さんにとって、希望に満ちた1年となるよう、皆で頑張っていきたいと思います。

今日は、昨年を振り返って話そうと思います。日本で昨年、希望をもつことができた話題は何でしょう。それは、青色LEDを開発した3人の科学者がノーベル物理学賞を受賞した

ことではないでしょうか。私の専門も物理ですが、非常に興味をもって見ていました。

青色LED、見たことありますか？ 色々な所にありますが、あまり意識して見ていないかも知れません。今日は持ってきましたので照らしてみます。広い場所ですから見えない所があるかも知れません。見えますか？ 単3電池が2つ、そして、LEDが1つ付いています。これを開発したのが3人の科学者、名城大学名誉教授の赤崎勇さん、名古屋大学大学院教授の天野浩さん。そして、カリフォルニア大学教授の中村修二さんです。中村さんは他の2人とは別の所で研究をしていて、青色LEDの量産化に成功しました。

このLEDは1つ400円位します。しかし、ここまで安くなるには相当時間がかかっています。まず赤崎さんと天野さんが研究を始め、このLEDの基になった窒化カリウムという半導体を作りました。1986年、28年前です。そして、中村さんが量産化に成功したのが1993年。青色LEDは30年近く前にはできていました。20世紀内にはできないと思われていましたが、赤崎さんと天野さんが窒化カリウムを用いて作るのに成功しました。

しかし、初めはほんの少し、青く光ったに過ぎませんでした。その後、中村さんが明るく光るものを量産化した…。完全に日本人が青色LEDを作ったんです。それから様々な人が改良を重ねて、青だけではなく赤と緑を重ねた白色、これは皆さんの家にもあるLED電球です。家電店へ行くと、今は電球の約8割がLEDです。今後はもっと明るく、寿命の長いLEDが開発されると思います。

なぜこのLEDに意味があるのか。青色LEDができる前は、白色電球や蛍光灯ばかりでした。当然これらには寿命があって、寿命はほんの数年でした。しかし、LED電球は10年、15年、20年と寿命が長く、電気代もあまりかかりません。性能がもっと上がると、例えばアフリカなど電気が通じていない小さな村々でも、小さな電源があれば闇夜を照らすことが可能になります。また現在日本では、大画面モニターの光度を上げるとか、様々な利用がなされています。LEDは、我々の生活を一変させると言われています。このような青色LEDの価値が高く評価され、ノーベル物理学賞に繋がったのだと思います。

また、話を少し遡れば、2012年、山中伸弥さんがips細胞でノーベル生理学・医学賞を受賞しました。前年の2011年3月11日には東日本大震災があって、福島原発事故があって、日本の科学技術界は希望を失っていました。そのような時、山中伸弥教授がノーベル賞を受賞した。そして、2014年に3人の科学者が再び受賞した。日本は今や、科学技術の分野で、世界に貢献する立場に立っているのです。日本人は、外からの評価は得にくいと思いがちでしたが、長い年月をかけて、世界に認められるようになりました。

ところが、技術が世界に広まると、「日本の技術が流出してしまう」という不安が持ち上がります。それは、日本の技術の価値低下とも考えられますが、一方で製品の価格が下がっていきます。そのことで、地球上の人々が恩恵を受けることになる。科学技術を、我々は何となく「こんなものか」と思うことが多いのですが、ぜひ注目して欲しいと思います。

そしてもう1つ。ノーベル賞を受賞した日本の科学者たちは、子どもの頃かなり勉強したということです。例えば天野浩さんは、数学がとても得意だったそうです。ところが、物理は苦手だった。そんな人が、大人になってノーベル物理学賞をとった。これはやはり、好きなことを究めていくという姿勢が、たとえ初めは不得意であったとしても、「最終的にはその世界を究める原動力になる」ということを物語っているのだと思います。3人の科学者は口々に「自分の将来の目標をしっかりもち、どうしても目標を達成したいという強い信念をもって、たとえ失敗してもそれを貫き通すことが、受賞につながった」と言っています。やはり、進路を考える時には、「自分がしたいことは何か」をよく考えて欲しいと思います。そして、目標が定まったならば、実行して欲しいと思います。特に、3年生は間もなく卒業です。進路は様々ですが、各々の進路は人生の着地点ではありません。通過点です。ぜひ自分が目指すものをもって進んで欲しい。1・2年生も間もなく進級です。3年生同様、決意をもって進んで下さい。そういう決意をする時が、「年の初め」です。ぜひ様々なことにチャレンジして欲しいと思います。

以上で私の話を終わりにします。

市原市 消防出初式に出演しました

バトン部



1月11日(日)、バトン部が平成27年 市原市消防出初式に招かれ、フラッグとポンポンを使った演技を披露しました。当日はよく晴れ渡る好天で、バトン部員たちのスカイブルーの衣装が映える絶好の舞台となりました。会場となった市原市総合防災センターには多くの観客が集まり、出初式のセレモニーや消防隊による実演を見学すると共に、本校バトン部の演技にも多くの拍手を寄せていました。それだけでなく、この日は地域の皆さんと防災について考える、良き1日となりました。

卒業試験を実施

3年生



1月21日(水)~24日(土)の日程で、業試験を実施しました。この試験は、3年生にとってその名の通り、卒業がかかった大切な試験です。これまで優秀な成績を取ってきた生徒も、なかなか成績が振るわなかった生徒も、高校生活最後の試験になります。1科目1科目の試験を大事にし、事前の学習を充分にして、問題に取り組んでいました。卒業試験の後、3年生は数回の登校日に登校するのみになります。卒業までの貴重な日々を、大切に過ごして欲しいものです。

卒業生からのメッセージ（社会人編）を実施

1年生



1月26日(月)、1年生を対象にした「卒業生からのメッセージ（社会人編）」を実施しました。この取り組みは、現在社会人として活躍している卒業生を招き、高校時代の様子や社会人となった今を話してもらうことで、生徒各自が自己の将来を模索するキャリア教育の一環として行うものです。今回は3人の卒業生（銀行員、建築士、管理栄養士）に講演をしていただきました。生徒たちは、自分たちと年齢の近い先輩たちからのメッセージを、真剣に受け止めていました。

望洋リレーエッセイ(62) 井出治男 先生

このコーナーでは、企画運営委員の先生方のエッセイを紹介します。2回目は教頭補佐・健康推進室長の井出治男先生です。



こんにちは、保健体育科の井出です。私がこの学校に勤め始めたのは、1978年(昭和53年)4月でした。当時は「東海大学精華女子高等学校」と称した女子高校で、1年間は非常勤講師として、2年目より専任教員として勤務しています。初年度よりバレーボール部の顧問を任されましたが、県大会に出場することさえ難しく、6年目にしてようやく県大会に初出場というレベルでした。その後、男女共学校の「東海大学付属望洋高等学校」と校名も変更され、男子のバレー部を指導することになり、現在に至っています。今年度は県ベスト4を狙えるというレベルまでになりました。もちろん結果も大切ですが、部活動を通じてひとりの人間としての成長を常に見守っていきたいと思っています。

連絡板

緊急連絡は望洋通信システムをご利用ください

<今後の主な行事>

2月	
2月2日(月)	全校集会 カウンセリング34
2月4日(水)	後期選抜入試準備(5時限) オリンピック・パラリンピック教育講演
2月5日(木)	後期選抜入試(生徒自宅学習)
2月6日(金)	3年生登校日 漢字検定
2月7日(土)	土曜講座5
2月9日(月)	カウンセリング35
2月10日(火)	センター入試模試(S特進2年生)
2月12日(木)	3年生登校日 センター入試模試(S特進2年生)
2月13日(金)	マラソン大会(1・2年生)
2月14日(土)	SPP・SSH成果発表会(高輪キャンパス)
2月18日(水)	カウンセリング36
2月23日(月)	3年生登校日
2月24日(火)	学年末試験(1・2年生)

～27日(金)	
3月	
3月2日(月)	答案返却(1・2年生)
3月3日(火)	特別授業開始
3月4日(水)	スタディーサポート(2年生)
3月5日(木)	3年生登校日
3月6日(金)	卒業証書授与式 予行
3月7日(土)	第29回 卒業証書授与式
3月9日(月)	研修旅行 事前指導(2年生)
3月10日(火)	研修旅行(2年生)
～14日(土)	[先発3/10～ 後発3/11～]
3月14日(土)	東海大学オープンキャンパス(1年生)
3月18日(水)	生徒自宅学習
3月19日(木)	修了式

編集後記 学校報「望洋」110号をお届けします。間もなく卒業式。次号は卒業式間際の3学年団の声を取り上げます。(寿)